



甲賀市の姉妹都市 大韓民国・利川市 ってどんなまち？



京畿道の東南部、ソウルから60kmほど離れた場所に位置。南漢江の支流が流れる地域で、水に恵まれているため昔からの米どころとして知られています。利川は高麗の王建（ワンゴン）が戦に勝ったことをたたえ、「利涉大川（イソプテジョン）」という言葉から「利」と「川」の字をとったことがその名前の由来。（「利涉大川」の意味は「大きな川を渡り、益を得る。」）また、たくさんの窯元が集まっている利川は陶窯地としても有名で、その数や規模は韓国一とされています。



「利川市ホームページ」 <https://www.icheon.go.kr/portal/index.do>



Ye's Park(利川陶磁芸術村) Ye's Parkにあるギター工芸

雪峰公園の夜景



利川 九万里の田園風景
九万里(구만리 クマンリ)の田園は、韓国最高の美質を誇る利川米が生産されます。朝鮮時代に献上米として王室に進上していた歴史があるため、利川米は王様印のブランド商品として販売されています。



利川市役所の全景

交流のきっかけ・歴史

平成4年（1992年）、当時の信楽町観光協会が陶磁器の産地でもある利川市の利川文化院を表敬訪問されたのを皮切りに親睦を深められ、平成8年（1996年）7月25日に利川文化院と信楽町観光協会との友好親善提携が結ばれました。互いの陶磁器・陶器まつり開催時には訪問しあうなど両市町の産業である「やきもの」を中心として観光、文化、経済などの分野で交流が深められてきました。そして、これまでの友好関係をさらに深めるため平成11年（1999年）10月23日に利川市と（旧）信楽町との間に、姉妹都市提携が結ばれました。また、平成12年（2000年）7月28日には、利川市から友好の証として陶磁器モニュメント「友情の火種」が贈られ、滋賀県立陶芸の森「産業展示館」の玄関前に設置されました。

しかし、平成16年（2004年）市町村合併に伴い信楽町他3つの町の姉妹都市関係は一旦白紙に戻し、市制後に調整するという確認がなされました。これまで旧町で温められてきた相手国市民との交流がすっかり根付いていることや姉妹都市関係の復活を望む声が高まり、平成17年（2005年）11月19日、甲賀市において、甲賀市と利川市・（他ミシガン州3市）の4つの都市と姉妹都市提携を結ばれました。



「友情の火種」
利川市の彫刻家の作品
（からみあう2つの炎は信楽町と利川市をあらわしている）

2018年に利川市へ市民訪問団として 参加して下さった皆さんの感想

～甲賀市国際交流協会広報誌KIS通信48号より一部抜粋～



今回は、なかなか上達しない韓国語を実践学習するつもりで参加させていただきました。初日の歓迎会をはじめ、陶芸村訪問等利川市民の方々との交流できる機会をいただけただけには本当にありがたく、貴重な経験となりました。利川文化院の方をはじめいろいろな場面で心を配っていただきました。



歓迎会にてホストファミリーとの記念写真



ホストファミリー手作りの朝ごはん

韓国料理は毎食キムチがあり、どの料理も美味しく幸せを感じました。ホームステイを体験させていただいたのですが、本当に手厚くもてなしていただき感謝の気持ちでいっぱいになりました。ただ旅行で韓国に行くよりも交流を行う事で、よりよい経験を体験することができたと思っています。

ハングル語は挨拶ぐらいしか話せないのに英語と日本語も交えながらの交流でしたが、利川の自然と人々の暮らしを知ることが出来、沢山の人の人と知り合えた楽しい旅だった事にカムサナムニダ！



利川市の方々と一緒に昼食



ホストファミリーと一緒に利川市のスーパーへ

海外が初めてということもあり、不安でいっぱいだったのですが、歓迎会の時ホームステイ先の方が笑顔で「よろしくお願ひします。」と日本語で出迎えて下さったので安心しました。携帯の翻訳アプリを使いながら、一生懸命日本語を話して下さったので、私も、もっとハングル語を勉強しておけば良かったと申し訳ない気持ちでいっぱいでした。ホームステイは韓国料理を味わったり、スーパーに連れて行ってもらったり、韓国の生活を肌で感じる事ができたので、貴重な経験となりました。

以前から韓国のドラマやK-POPが好きだったこともあり、いつか韓国を訪れてみたいと思っていたのですが、今回は単に韓国を旅行するだけでなく、普通の旅行では経験できないホームステイを体験できるということで参加しました。初めての韓国で韓国語も話せないのに、楽しみな反面とても心配していたのですが、皆さんとても優しく、私のことを気にかけて下さって、日本語もお上手でとても楽しい日々を過ごしました。



ホストブラザーズとその友達と韓国チキンを食べました！